

米子工業高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	英語総合Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0030	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	総合工学科(建築デザインコース)	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	3	
教科書/教材	LANDMARK Fit English Communication I・II(啓林館)、教科書準拠ワークブック(啓林館)、Data Base 4500(桐原書店)			
担当教員	中島 美智子,遠藤 香菜子			
到達目標				
1.相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけ、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。 2.日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。 3.社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけ、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけ、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけ、実際の場面での英語の使用に役立てることができない。	
評価項目2	日常生活や自分の身近なことについて、的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できない。	
評価項目3	社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、意見交換ができる。	社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができる。	社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができない。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 E				
教育方法等				
概要	テキストの教材に従って、英語を「読む」「聞く」「書く」「話す」ための基本的能力を養うとともに、様々な内容の英文に触れることにより、異文化に対する理解を深める。語彙の増強を図る。			
授業の進め方・方法	* 予習が必要である。新出単語・熟語を辞書で調べ、本文についておおまかな内容を考えて授業に臨んでもらいたい。 * 授業に集中し、その日の内容はできるだけ授業中に理解するように心がけてほしい。 * 毎週、語彙の小テストを実施する。			
注意点	提出物が遅れて出された場合は減点するので、必ず〆切を守って提出すること。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1週	ガイダンス	授業進行や課題などについて理解し年間を通して実行できる。	
	2週	Lesson7(1)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	3週	Lesson7(2)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	4週	Lesson7(3)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	5週	Lesson7(4)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	6週	Lesson7復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	7週	Lesson8(1)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	8週	前期中間試験	前期中間までに習った内容を理解する。	
2ndQ	9週	テスト返却・Lesson8(2)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	10週	Lesson8(3)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	11週	Lesson8(4)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	12週	Lesson 8復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	13週	Lesson1(1)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	14週	Lesson1(2)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	
	15週	Lesson1(3)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	

		16週	前期期末試験	前期期末までに習った内容を理解する。
後期	3rdQ	1週	Lesson1 復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		2週	Lesson2(1)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		3週	Lesson2(2)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		4週	Lesson2(3)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		5週	Lesson2(4)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		6週	Lesson2復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		7週	Lesson2復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		8週	後期中間試験	後期中間までに習った内容を理解する。
後期	4thQ	9週	テスト返却 Lesson3(1)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		10週	Lesson 3(2)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		11週	Lesson 3(3)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		12週	Lesson 3(4)	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		13週	Lesson 3復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		14週	Lesson 3復習・まとめ	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。
		15週	後期期末試験	学年末までに習った内容を理解する。
		16週	テスト返却・見直し	期末試験について、自らの問題点を把握し、修正できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
					前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
					前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p>	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			<p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p>	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p>	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			<p>説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。</p>	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p>	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
英語運用能力向上のための学習			自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話を毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合